校長室だより

柏原市立堅上小学校
令和７年度　第７号
令和７年９月１１日

長い夏休みが終わり、待ちに待った２学期が始まりました。始業式の日には、体調を崩してお休みしたお子さんもいましたが、大きな事故もなく、みんな元気に過ごせたようでほっとしました。始業式では、元気に過ごせたのは、おうちの方の見守りやさりげない支えがあったからこそであること、そして当たり前のように思える日常を大切にしてほしいことを伝えました。また、今も九州や全国各地で自然災害の復旧に取り組んでいる方々がいることにもふれ、そのような心配がないみなさんは２学期の学習や行事にそれぞれのペースで一生懸命取り組んでほしいという私の願いを伝えました。

２ 学期は学習も行事も充実し、大きく成長できる時期です。友だちと協力しながら進める活動もたくさん予定されています。その中で「自分の役割をしっかり果たすこと」や「仲間と力を合わせること」を経験し、子どもたちの自信や達成感につながっていくよう、職員一同で温かく見守り、支えてまいります。

今学期も、一人ひとりの子どもの「がんばり」や「よさ」を大切に育みながら、保護者の皆様と一緒に歩んでいきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【堅上幼小中の次年度以降の取組み】

平成 19 年に始まった柏原市内初の小中一貫校として、今まで通ってきた子どもたち・先生方の取組みで歴史を積み上げてきました。その中で幼稚園の連携も加わり、子どもたちや先生同士のつながりも今まで自分が経験してきた学校の中でも一番強固であると感じています。毎年の積み上げや変更も行ってきましたが、次期指導要領でも重視される**「探究学習」**を軸として令和８年度から幼ー小ー中の活動をつないでいくための準備を進めています。

それを端的に表したのが右図です。これは８月に行われた大阪教育大学主催の「みらい教育共創フォーラム 2025」において柏原市教育委員会・堅上幼小中としてポスター展示に使用したものです。

ねらいなどを簡単に紹介すると…

文科省では現在「2030 年代の学習指導要領の改訂」を進めていて、その経過・過程が随時公表されています。その中で、予測困難な時代を生きる子どもたちには、生きて働く確かな知識の習得やみずから学びに向かう力、それに生成 AI などのデジタル技術の進展に対応する情報活用能力の育成が必要だとしています。簡潔に言えば、**「正解を覚える」だけでは通用しない場面が増えていることへの対応や情報活用能力の向上が今後の教育活動に求められていく**ことになります。

堅上小学校では幼稚園での「あそび」で得た発見や疑問、試行錯誤などの素敵な経験を 1，2 年生の生活科でさらに発展させ、3 年生以降の総合的な学習の時間（「カタカミライ科」）における「探求学習」を充実させ、義務教育が終わる中学校卒業時に、自分で「課題を見つけ・解決し・発信する」力を身につけられるようカリキュラムを編成します。現在、負担がかからないように学年（発達段階）に合わせて、ステップアップしていくよう検討を進めているところです。

〈探求学習とは〉

探究学習は「自分で考え、行動し、社会とつながる力」を育てるための学び。子どもが自ら問いを立て、情報を集め、分析し、他者と協働して答えを導くプロセスを重視する学習。

これからの時代を生き抜くために、義務教育の中でその土台を築くことが求められており、次期学習指導要領でも重視される学習活動であり、次回(2030 年代実施)の学習指導要領の改訂ではその取組みを先取りすることが認められています。

裏面につづく

【堅上幼小中 Instagram】

幼小中それぞれの取り組みを外部に発信するため、現在アカウント名 katakami_mirai で少しずつアップを始めてます。写真だけでなく動画も用いて子どもたちの活き活きした活動の様子や堅上の自然を発信できたらと考えています。

目的は保護者の皆さんに、学校での子どもたちの様子や各校園の取り組みを知っていただくこと、また、堅上に興味を持ってもらって特認での応募増につなげたいことなどがあります。

教員による SNS アップにより大きな社会問題となったスマホの撮影、私たちもショックでした。健全に利用すれば価値あるツールであるのに、一部のいい加減な人間により子どもや保護者の皆さんも敏感になっておられると推察しています。

そのような社会情勢ですが、先述の目的の達成のためチャレンジしていきたいと考えています。アップまでの流れを円滑にするため、教員個人のスマホを使用しますが、小学校においては次のような約束事で運用していきます。

- 子どもの顔が分からないような（後ろや横からの）ものを用いる。
- アップについての担当者は１人とし、管理職確認の下で行う。
- 個人のスマホにある写真や映像は担当者にデータを渡した時点で消去する。

@KATAKAMI_MIRAI

ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

【来年度募集について】

R8 年度転入学募集は 10 月上旬に教育委員会学務課の HP にアップされる予定です。

学校としては、11 月９日の日曜参観終了後に中学校において「特認説明会」を、12 月６日（土）の堅上フェスタ後に面談を実施します。

本校の HP 内の「小規模特認校」のページには９月下旬に紹介動画やチラシを掲載する予定で準備を進めています。

今年度、市内こども園や私立幼稚園・保育園などの５歳児の家庭に配布依頼をするチラシは５年生が作成に携わってくれました。市内公共施設（市役所・図書館など）にも設置予定です。

毎年のことですが、在校生・卒業生の保護者の方から紹介されて堅上に興味をお持ちになった方もいらっしゃいます。口コミは大きな力を発揮します。来年度小学校入学のお知り合いがおられたら紹介をよろしくお願いします。

【情報モラル】

私が子どもの時には身近にパソコンなどはありませんでしたが、今の小中学生は生まれた時から当たり前にＩＣＴ機器に囲まれています。そしてその環境は進化していくことはあってもなくなることはありません。

ルールを守って上手に使えばとても便利ですが、使い方を誤ると自分の人生に悪影響を及ぼすこともあります。

学校でも「情報モラル教育」は都度行ってはいますが、子どもたちはまだ未熟であり、目の前の興味のために被害に遭ったり、状況によっては加害者にもなりえます。未成年の場合は保護者の責任も生じますのでご家庭でもスマホのルール作りや使用について定期的に確認するなども心掛けていただきたいと思います。

とはいえ、情報モラルの専門家でも１年間の間に話す内容を更新しないと対策しきれないと言うくらい、ＩＣＴを悪用する人々もたくさんいます。私自身も「こんな危険があるのか」ということを学ぶために利用するサイトですが、「保護者向けネットモラル・コミック」マンガで学べるコーナーもあります。

よろしければ一度のぞいてみてください。

ケータイ、パソコンでどんどん広がるネット社会。
このサイトでは、ネット社会を楽しく賢く歩いていくための
考え方やノウハウを学ぶ各種教材をご提供しています。